

MEDIA RELEASE • COMMUNIQUE AUX MEDIAS • MEDIENMITTEILUNG

報道関係各位

**眼内レンズのプリロードデリバリーシステム
「ウルトラサート®」発売のお知らせ
~コントロール性の高いレンズ挿入を実現~**

日本アルコン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：ジム・マーフィー、以下「アルコン」）は、白内障手術で使用される眼内レンズのデリバリーシステム「アルコン® ウルトラサート® アクリソフ® IQ シングルピース」（以下「ウルトラサート」）を10月3日より販売いたします。

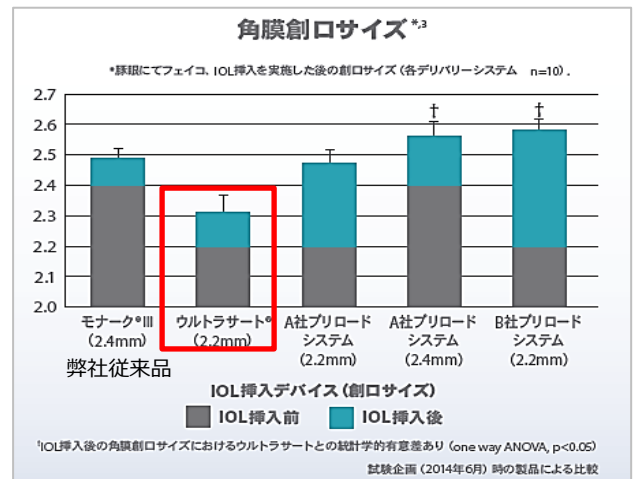
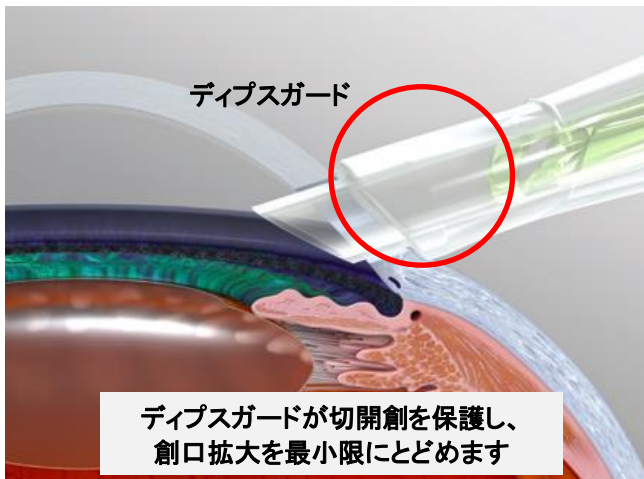
ウルトラサートは眼内レンズ挿入時に使用される製品です。挿入速度を一定にコントロールすることで、ドクターのより安全で的確なレンズ挿入をサポートするとともに、切開創の拡大を最小限に抑えることで、術後結果の精度を高めることが期待できます。

アルコンは白内障治療に注力しており、前嚢切開、角膜切開、水晶体核分割をフェムトセカンドレーザーで行う「LenSx®眼科用レーザー手術装置」や屈折情報を術中リアルタイムに測定できる「ORA™術中波面収差解析装置」など、白内障手術を支援する数々の製品を提供しています。国内における眼内レンズ挿入術は年間およそ130万件と、最も多く行われている外科手術といわれており¹、アイケアのリーディングカンパニーであるアルコンは、ウルトラサートの提供を通じて、より包括的に白内障治療をサポートしてまいります。

<製品特長>

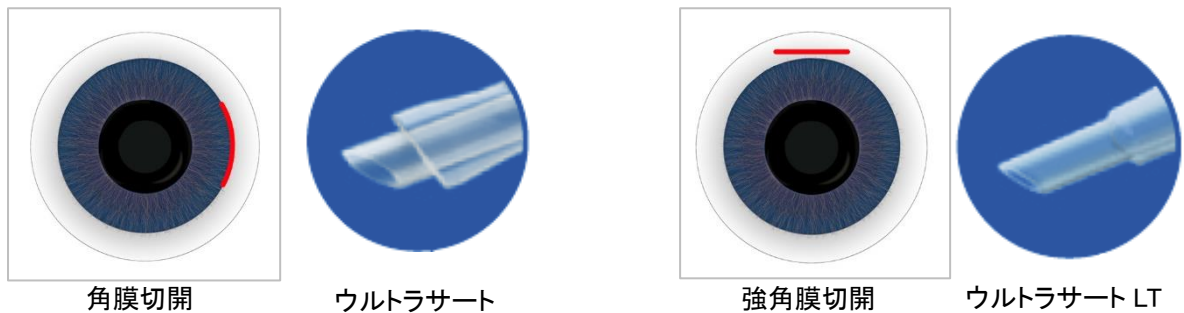
- 眼内レンズが装填されており、眼内に挿入される瞬間まで眼内レンズが清潔に保たれる
- 簡単な3ステップセッティングで複雑な事前準備が不要
- 眼内レンズを一定速度で押し出すプッシュ式インジェクターで、眼内レンズ挿入を片手でコントロールできる
- 先端にある「ディプスガード」が創口拡大を最小限に抑え、切開創への負担を軽減
- 切開位置に合わせて先端形状が選べる2つのタイプがあり、LTタイプは日本用に開発





ウルトラスアートの切開創への負担軽減に関しては、2015年の欧州白内障・屈折手術会議 (ESCRS)にて非臨床試験データを発表いたしました。ウルトラスアートの創口拡大は軽微であり、眼内レンズ挿入後の角膜創口サイズは(2.31 ±0.06mm)でした。

さらにウルトラスアートは、先端形状の異なる2種類を用意しており、切開位置によって選ぶことができます。日本では、黒目から少し離れた白目の部分を切開する「強角膜切開」が多いことから、ディプスガードのない「ウルトラスアート LT」を日本のニーズに合わせて開発いたしました。



<製品概要>

販売名	アルコン® ウルトラスアート® アクリソフ® IQ シングルピース
製品コード	AU 00 T 0 (UltraSert) AUL 0 T 0 (UltraSert LT)
医療機器承認番号	22800BZX00073000
定価	11万円(税別)

白内障について

白内障は、目の水晶体が濁り、眼球壁の最内層にある網膜に光が届きづらくなることで視力が低下する病気です。現在、世界全体で2000万人もの人々が白内障によって失明しており、失明原因の51%を占めていると報告されています²。日本では眼科医療の発達により、白内障によ

る失明は3.8%、失明原因の第6位にとどまっていますが³、白内障は、80歳代で100%罹患する⁴とされており、高齢化社会が進む日本では、今後も患者数の増加が見込まれます。

日本アルコンでは、白内障や眼内レンズに関する情報サイト「白内障情報室」

<http://www.cataract-iol.jp/>を運営しています。

About Alcon

日本アルコン株式会社は、ノバルティスグループのアイケア事業部門を担うアルコンの日本法人です。アイケアのリーディングカンパニーであるアルコンは、幅広い製品の提供を通じて人々のより良い視界と生活の改善に寄与することを使命としています。年間2億6千万人以上の白内障、緑内障、角膜疾患や屈折異常に悩む世界中の人々にアルコン製品をご利用いただいておりますが、未だ治療法がない眼疾患もあり、引き続き多くの人たちのアイケアニーズに応えることが求められています。我々は「アイケアの再創造」をミッションとして、革新的な製品の開発、アイケアの専門家とのパートナーシップや質の高いケアへのアクセスを高めるためのプログラムの提供を行っております。

詳細は www.alcon.co.jp をご覧ください。

References

1. 日本眼科医療機器協会 2014年 Annual Report
2. 世界保健機関(WHO)
3. 2007年厚生労働省研究班調査報告書
4. 「科学的根拠(evidence)に基づく白内障診療ガイドラインの策定に関する研究」日本における初期混濁も含めた水晶体混濁有所見率 https://minds.jcqhc.or.jp/n/public_user_main.php#